



簡単! 具たくさんおすし

「五目ひじきずし」

●材料(4～5人分)

米・・・・・・・・・・2合
 A { レモン汁+米酢・・・・40cc
 砂糖・・・・・・・・大さじ2強
 塩・・・・・・・・小さじ2/3

芽ひじき(乾)・・・・・・・・10g
 にんじん・・・・・・・・1/3本
 すし揚げ(正方形)・・・・1枚
 れんこん・・・・・・・・30g
 ゆで大豆・・・・・・・・大さじ2
 B { 砂糖・・・・・・・・大さじ1
 しょうゆ・・・・大さじ1・1/2
 だし汁・・・・約100cc
 錦糸卵・・・・・・・・2個分
 えびそぼろ・・・・・・・・適量
 さやいんげん・・・・・・・・適量

●作り方

- 1 米は、「すし飯」の水加減で炊く。
- 2 Aは混ぜ合わせて、鍋か電子レンジで加熱し、砂糖を溶かす。
- 3 炊き上がったご飯を飯台などに移し、2を全体に混ぜ合わせる。
- 4 野菜と揚げは食べやすく切る。ひじきはもどす。
- 5 4と大豆をBで汁気なくなるまで煮て、3に加える。
- 6 器に盛り、錦糸卵・えびそぼろ・さやいんげんを飾る。

※ ひじきの煮物のリメイクにも

むつみ歌会【岩城】

コロナ禍に帰省かなはぬ人あまた常とは違ふ盆を迎える

玄関に弟待てば空蟬の寶子の上に艶やか転ぶ

若き日に女の子池で男の子海で助けたりにかに過ぎずや

生前に父は語りし満州の終戦の様記事と重なる

西本 優子

魚島俳歌柳会【魚島】

コロナ禍と猛暑の続く憂き日々若き棋聖の快挙嬉しき

過疎の島老壮婦青の有志達世話役達へ感謝感謝

一日を笑う暮しのありがたさ
 ・新コロナ人の心を切り離す
 ・断捨離へ懐かしい過去切り離す

久保かずみ

山元 征子

ひまわり

柳 小福

松原 瑞峰

下弓削地区に子ども神輿整備! 宝くじ助成事業

この度、(一財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、下弓削地区が秋祭りで使用する子ども神輿を新たに購入しました。従来の子ども神輿は50年以上前から使用していましたが、老朽化により安全な運行ができないう状況であったため、新たに子ども神輿を整備したものです。これにより、安心安全の神輿運行が確保されると共に地域住民が一同に集う秋祭りに賑わいと活気が生まれ、子供と高齢者の交流を図ることができるなど地域の発展と融和、福祉の向上に寄与することが期待されます。



【Homesick】

さて皆さま、homesick という英単語をご存知でしょうか。home とは勿論、自宅のこと、そして sick とは病気という意味・・・では二つを合わせると・・・お家の病? いったいどういうことかしら。

言葉を定義するということは何でしょうか。そもそも人それぞれで、価値観や世界観、そして見ようにより言葉の意味は異なるのでは。したがって、僕の homesick とは生名のジョン先生が思うのとは違うかもしれません。しかし、それはそれで良いのです。そもそも homesick

のような感情は言葉にしようと思っても難しいのではないのでしょうか。

それでも「homesick を定義しなさい!」、と例えば世界制覇をしようとしている宇宙人にも言われたら、僕はこう答えると思います。ホームシックとは、故郷に帰省したくてたまらないのにできずにいることから生ずる、グッと襲ってくる心の疼きのことです。一度でも経験したことのある方にはお分かり頂けると思いますが、実の病気ではないとはいえ、控えめに言ってもあまり喜ばしいものでもあ

りません。そうすれば、もしこのプラネットアースを自分の帝国の支配下に置こうとしていても、少しでもこの気持ちを理解したならば、諦めるのではないのでしょうか。

今月の担当 ALT
 バレキ・ジョナサン・ウィリアム

わたしの
上島旅

— 第21回 —
 今月の旅人



高倉 務さん(58)とご家族
 (後月エコフィールド地区ファミリーキャンプサイト利用)
 大阪市在住

私が初めて弓削島の松原海水浴場に来てしたのは、昭和41年8月4歳の時、因島に住む親戚家族と共に、祖母と父に連れられて来ました。(昭和41年 白黒写真、麦藁帽が私です)

それから毎年夏になると、三原・鷺島・因島のお墓参りを終えて、弓削島でキャンプをするようになり、今年で54回目になります。

結婚後、3人の子供達もみな0歳でキャンプデビュー...初めての海水浴は、松原海水浴場でした。

海の恵みに感謝し、魚の釣り方・魚のさばき方・魚の食べ方、海での遊び方を父から子へから孫へこの弓削島で学び成長してきました。キャンプ場の炊事場で魚をさばき、刺身・天ぷら・塩焼き・煮付け・味噌汁...にしてみんなで食べる魚は、ここでもしか味わえない最高のご馳走です。

弓削神社真正面海から朝日が登り、日中は松原が心地よい日陰となり、夜には満天の星空。静かに波の音を聞きなが



ら、都会では味わえない最高の時間が流れるのです。一度来た人は、再び訪れたくなる魅力がこの弓削島にはあるのだでしょう。

自然の素晴らしさだけではなく、自然の厳しさも教えてくれました。その度に、家族は成長したように思います。

今年は、6カ月になる孫も参加し、最年少キャンプデビュー年齢を更新しました。5世代(祖母・父・私・子供・孫)にわたり、この松原海水浴場でお世話になっています。世代は変わっても、この松原海水浴場の景色は変わらず、毎年訪れたい私たちの故郷です。

上島町観光協会 各種お問い合わせ ☎72-9277 www.kamijima.info